

武田レグウェア株式会社 (埼玉県)

～ 靴下は進化する ～

1. 貴方のソックスは左右対称ですか

ソックスを買う際、自分の足に合ったものを選ぶことは重要である。ソックスの形状によって、足の疲れや脚部の運動機能に大きな違いが出てくるからだ。

人間の足型は、両足について見れば左右ほぼ対称であるが、片足について見れば非対称で複雑な形状をしている。しかし、多くのソックスは編み機の制約や編成の効率化のため、左右対称な形状のものが製造されてきた。その結果、ソックス自体に伸縮性があるとはいえ、足をソックスに合わせているのが現状である。

同社が開発したソックスは、右足・左足専用ソックスだ。親指側を長く小指側を短く編み、さらに、親指側を高く立体的に編むことで、各指先にフィットさせることができる。

この形状によって外反母趾の緩和や疲れにくくなるといった効果が得られ、特許も取得した。売上げは好調で、現在では、5本指ソックスや、ふくらはぎ、足首、かかと、土踏まず、爪先といった足の各部位の形状にできるだけ近づけた多種多様な製品を作り出している。

2. ソックスは知的財産でまだまだ伸びる

武田社長が以前勤めていた靴下メーカーは、不況で廃業に追い込まれ、これを契機に昭和57年、スポーツ用品メーカーのヨネックスに誘われてパイル地のソックス製造を始めた。ヨネックスのスポーツソックスを履くバドミントンやテニスの選手からの不満や要望を聞いて製品改良を続けているうちに、右足にフィットした右足専用ソックス、左足にフィットした左足専用ソックスを開発するに至り、選手達の好評を博した。

これはいけると世界的に確信した武田社長は、更に改良を加えるとともに特許も取得し、ソックス業界では世界的に画期的な商品となった。テニスプレーヤーとして活躍した伊達公子選手や、浅越選手も、同社からOEM供給されたソックスを愛用した。

ソックスの分野で新技術が生まれることは珍しいが、同社は挑戦し続ける。そして新技術の特許権等で保護することによって、同業他社の参入を阻止し、高利益率を維持している。海外進出に向けて、外国特許の取得にも熱心だ。

今後は、ストッキングやビジネスソックスなどの分野でも、自社ブランド商品の事業拡大を成功させるつもりだ。

【保有権利に基づく製品例】



自社ブランド「R x Lソックス」



自社ブランド「RxL5toe SOCKS」

<会社概要>

名称及び代表者名	武田レグウェア株式会社 代表取締役社長 武田 進
本社所在地	埼玉県富士見市水子4933番地
創業	1982 (昭和57) 年
資本金	1,000万円
従業員数	8名
主要製品	左右つま先形状靴下、外反母趾緩和ソックス、ウォーキングソックス
電話	049-255-5557
URL	http://www.bigtoe-takeda.com/